aws

ユーザーガイド

積立プラン

Version 1.0

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

積立プラン: ユーザーガイド

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

Savings Plans とは 1
Savings Plans のタイプ 2
Compute Savings Plans とリザーブドインスタンス 3
開始方法 6
サポートされる サービス 7
Amazon EC2 7
AWS Fargate 7
AWS Lambda 8
Amazon SageMaker AI 8
Savings Plans 推奨事項について 9
推奨事項の計算について 10
Savings Plans 推奨事項のカスタマイズ 11
Savings Plans 推奨事項の詳細の表示 11
Savings Plans 推奨事項のダウンロード 12
CSV フィールドの詳細 13
購入する Savings Plans の決定 14
分析計算について 14
Savings Plans の購入分析の実行 15
Savings Plans の購入分析の確認 16
Savings Plans の購入分析を完了する 17
CSV フィールドの詳細 17
Savings Plans を購入する 19
Savings Plans 推奨事項の評価 19
カスタムコミットメントでの Savings Plans の購入 20
Savings Plans の購入をキューに登録する 21
Savings Plans の購入の確認と確定 22
購入した Savings Plans の解除 24
Savings Plans の解除に関する制限事項 25
コスト削減の機会について 27
Savings Plans の詳細の表示 27
Savings Plans アラートの管理 28
Savings Plans のモニタリング 29
Savings Plans のインベントリの表示 29
Savings Plans の更新 30

キューに登録されている Savings Plans を削除する 31
Savings Plans の料金表のダウンロード 32
Savings Plans のインベントリのダウンロード 32
Savings Plans の使用状況レポートの使用 33
使用率メトリクスと計算について 33
Savings Plans の使用状況レポートのダウンロード 34
Savings Plans のカバレッジレポートの使用 34
カバレッジメトリクスと計算について 35
Savings Plans のカバレッジレポートのダウンロード 35
Savings Plans の予算の使用 36
テンプレートを使用した Savings Plans の予算の作成 36
Savings Plans の予算のカスタマイズ 37
Savings Plans が使用に適用される仕組みを理解する 39
Savings Plans を用いた場合の請求額の計算 39
Savings Plans の例 39
シナリオ 1: Savings Plans をすべての使用に適用する 41
シナリオ 2: Savings Plans を一部の使用に適用する 41
シナリオ 3: Savings Plans が製品全体の一部の使用に適用する 41
シナリオ 4: Savings Plans と EC2 リザーブドインスタンスを使用に適用する 42
シナリオ 5: 複数の Savings Plans を使用に適用する 42
Amazon EventBridge を使用した自動化 43
Savings Plans からのイベント例 43
Savings Plans 状態変更イベント 43
Savings Plans の状態変更アラートイベント 45
Identity and Access Management 48
ポリシーの構造 48
AWS マネージドポリシー 49
ポリシーの例 49
AWS CloudTrail を使用した Savings Plans API コールのログ記録 51
CloudTrail での Savings Plans 情報 51
Savings Plans ログファイルエントリを理解する 52
クォータと制限 54
Savings Plans 54
ドキュメント履歴 55
..... lvii

Savings Plans とは

Savings Plans では、1 年間または 3 年間の指定量のコンピューティング処理 (1 時間ごとに測定) を使用するコミットメントと引き換えに、オンデマンド料金を超える削減を提供します。

- 1 年: 1 年は 365 日 (31,536,000 秒) として定義されます。
- 3 年: 3 年は 1,095 日 (94,608,000 秒) として定義されます。

Savings Plans は、 AWS 使用量を節約できる柔軟な料金モデルを提供します。 AWS コンピューティングワークロードを最大 72% 削減できます。Compute Savings Plans は、インスタンスファミリー、インスタンスサイズ、OS、テナンシー、 AWS リージョンに関係なく、Amazon EC2 インスタンスの使用量に対して低価格を提供します。これは、 AWS Fargate および AWS Lambda の使用にも適用されます。SageMaker AI Savings Plans では、インスタンスファミリー、サイズ、コンポーネント、 AWS リージョンに関係なく、Amazon SageMaker AI インスタンスの使用料金を削減できます。

AWS Cost Explorer でレコメンデーション、パフォーマンスレポート、予算アラートを使用してプランを管理できます。

Savings Plans にサインアップすれば、使用量に対して支払う料金はプラン期間中変わりません。コミットメント料金は、[全額前払い]、[一部前払い]、または [前払いなし] のオプションを使用して支払うことができます。

開始するには、 AWS Cost Explorer を使用して、推奨される Savings Plans コミットメントの表示、Savings Plans レコメンデーションの更新、Savings Plans の購入、Savings Plans の管理、過去の AWS 使用状況の表示を行います。これらの推奨事項により、お客様にとって最適な Savings Plans のコミットメントレベルを簡単に知ることができます。ニーズに合わせて推奨事項をカスタマイズし、Savings Plans を購入できます。Savings Plans の対象となる AWS サービスの完全なリストを確認するには、「」を参照してくださいSavings Plans の特典の対象となるサービス。 Savings Plans

トピック

- Savings Plans のタイプ
- Compute Savings Plans とリザーブドインスタンス

Savings Plans のタイプ

AWS には、Compute Savings Plans Savings Plans、Database Savings Plans、EC2 Instance Savings Plans、SageMaker AI Savings Plans の 4 種類の Savings Plans が用意されています。

- Compute Savings Plans は、最も柔軟性が高く、オンデマンド料金から最大 66% オフの料金を提供します。これらのプランは、インスタンスファミリー (m5、c5 など)、インスタンスサイズ (c5.large、c5.xlarge など)、リージョン (us-east-1、us-east-2 など)、オペレーティングシステム (Windows、Linux など)、テナンシー (専有、デフォルト、専有ホストなど) に関係なく、EC2 インスタンスの使用に自動的に適用されます。また、Fargate と Lambda の使用にも適用されます。Compute Savings Plans では、ワークロードの c5 から m5 への移行、使用量の欧州 (アイルランド) から欧州 (ロンドン) への移行、Fargate を用いてのアプリケーションの Amazon EC2 から Amazon ECS への移行がいつでも可能です。これらの変更を行っても、Compute Savings Plans が提供する低価格のメリットを引き続き享受できます。
- Database Savings Plans は、Aurora、RDS、DynamoDB、ElastiCache、DocumentDB、Timestream、Neptune、Keyspaces、DM OpenSearch Service のコストを最大 35% 削減しながら、 AWS データベースサービスを使用する柔軟性を提供します。これらのプランは、エンジン、インスタンスファミリー、サイズ、アベイラビリティーゾーン (AZ)、またはリージョンに関係なく、プロビジョニングされた最新のインスタンス世代に自動的に適用され、サーバーレスの使用にも適用されます。例えば、 Database Savings Plans では、Aurora db.r7g インスタンスと db.r8g インスタンスの間で変更したり、ワークロードを欧州 (アイルランド) から欧州 (ロンドン) に移行したり、RDS for Oracle から Aurora PostgreSQL 互換エディションにモダナイズしたり、割引料金を維持しながらワークロードを RDS から DynamoDB に移動したりできます。
- EC2 Instance Savings Plans は、選択した AWS リージョン (バージニアの m5 など) の特定のインスタンスファミリーへのコミットメントと引き換えに、オンデマンドで最大 72% の割引を提供します。これらのプランは、インスタンスサイズ (m5.xlarge、m5.2xlarge など)、OS (Windows 、Linux など)、テナンシー (ホスト、専用、デフォルト) に関係なく、リージョン内の指定されたファミリー内での使用に自動的に適用されます。

  EC2 Instance Savings Plans では、インスタンスタイプ内のインスタンスサイズの変更 (c5.xlarge から c5.2xlarge へなど) またはオペレーティングシステムの変更 (Windows から Linux へなど) や、専有テナンシーからデフォルトへの移行ができ、EC2 Instance Savings Plans で提供される割引料金を引き続き受けることができます。
- SageMaker AI Savings Plans は、オンデマンド料金から最大 64% の割引を提供します。これらのプランは、インスタンスファミリー (ml.m5、ml.c5 など)、インスタンスサイズ (ml.c5.large、ml.c5.xlarge など)、リージョン (us-east-1、us-east-2 など) およびコンポーネント

(ノートブックトレーニングなど) に関係なく、SageMaker インスタンスの使用に自動的に適用されます。

SageMaker AI Savings Plans では、ワークロードの ml.c5 から ml.m5 への移動、使用量の欧州 (アイルランド) から欧州 (ロンドン) への移行、使用料のトレーニングから推論への移行がいつでもでき、引き続きメリットを受けることができます。

> **Note**
>
> Savings Plans は、コミットメントと引き換えに低価格を提供します。コミットメント条件は、購入後に変更することはできません。使用量に変更があれば、追加の Savings Plans にサインアップできます。
> 専有インスタンスは、1 つ以上の専有インスタンスを実行しているすべてのリージョンで 1 時間あたり 2 USD が課金されます。これらの専用料金は、Savings Plans で割引されません。
> Compute と EC2 インスタンスの両方のプランタイプは、Amazon EMR、Amazon EKS、および Amazon ECS クラスターの一部である EC2 インスタンスに適用されます。Amazon EKS の料金は、Savings Plans でカバーされませんが、基礎となる EC2 インスタンスは Savings Plans でカバーされます。

Compute Savings Plans とリザーブドインスタンス

Compute Savings Plans は、Amazon EC2 リザーブドインスタンス (RI) と同様に低価格で提供される柔軟な価格モデルですが、さらに柔軟性があります。Savings Plans では、特定のインスタンス構成ではなく、一定量のコンピューティング使用量 (1 時間あたり USD で測定) にコミットすることで、請求額を削減できます。Savings Plans を利用すると、交換や変更を行うことなく、ニーズに最適なコンピューティングオプションを低価格で柔軟に使用できます。

Compute Savings Plans は、コンバーティブル RIs と同様に、オンデマンドで最大 66% の割引を提供します。Compute Savings Plans では、EC2 インスタンスの使用量、Fargate、Lambda のコストが自動的に削減されます。EC2 Instance Savings Plans は、スタンダード RIs と同様に、オンデマンドから最大 72% の割引を提供します。また、選択したリージョンの特定の EC2 インスタンスファミリー内のインスタンス使用の料金も自動的に削減されます。詳細については、「Savings Plans のタイプ」を参照してください。

Savings Plans と RI の比較

	Compute Savings Plans	EC2 Instance Savings Plans	コンバーティブル RI*	スタンダード RI
オンデマンドからの削減	最大 66%	最大 72%	最大 66%	最大 72%
金銭的コミットメントと引き換えの低価格	✓	✓	—	—
すべてのインスタンスファミリーに自動的に価格を適用	✓	—	—	—
すべてのインスタンスサイズに自動的に価格を適用	✓	✓	—**	—**
すべてのテナンシーや OS に自動的に価格を適用	✓	✓	—	—
Fargate を使用して Amazon ECS と Amazon EKS に自動的に適用	✓	—	—	—
Lambda に自動的に適用	✓	—	—	—
AWS リージョン間で料金を自動的に適用する	✓	—	—	—

	Compute Savings Plans	EC2 Instance Savings Plans	コンバーティブル RI*	スタンダード RI
1 年または 3 年の期間オプション	✓	✓	✓	✓

* コンバーティブル RI は、異なるインスタンスファミリー、インスタンスサイズ、OS、テナンシーに変更できますが、交換は手動で行う必要があります。

** リージョンのコンバーティブル RI とリージョンのスタンダード RI により、インスタンスサイズに柔軟に対応できます。

> **Note**
>
> Savings Plans ではキャパシティ予約は行えませんが、必要に応じてオンデマンドキャパシティ予約 (ODCR) を割り当てることができ、その場合は Savings Plans が適用されます。
> SUSE Linux Enterprise Server (SLES) を実行するインスタンスの Savings Plans 料金は、対応する RI 価格とは異なります。
> Savings Plans の価格は、時間単位のコミットメントの金額によって変わることはありません。
> Savings Plans は、スポットでの使用や、RI でカバーされる使用には適用されません。
> Savings Plans は、コミットメントと引き換えにオンデマンド価格よりも低価格で提供されるもので、期間中にキャンセルできません。

Savings Plans の使用開始

Savings Plans の使用を開始するには、Cost Explorer を有効にする必要があります。Cost Explorer は、Savings Plans でコストを最適化するのに役立つものです。Cost Explorer では、過去の AWS 使用状況に基づいてカスタマイズされた購入の推奨事項にアクセスしたり、Savings Plans を購入したり、購入したSavings Plans を簡単に管理したりできます。

まず、AWS Billing and Cost Management Console を使用して Savings Plans を表示、分析、管理する前に、Cost Explorer で設定とアクセス許可を有効にします。

前提条件

- Cost Explorer を有効にする。Savings Plans へのアクセスを管理するために、まず Cost Explorer へのアクセスを有効にします。推奨事項の作成に必要なデータが利用可能になるまでに、最大 24 時間かかることがあります。詳細については、「AWS Cost Management ユーザーガイド」の「Cost Explorer のアクセス制御」を参照してください。
- API を使用して購入を有効にする Savings Plans API の IAM アクセス許可の管理については、「Savings Plans API リファレンス」を参照してください。

Savings Plans の特典の対象となるサービス

AWS では、Compute Savings Plans、EC2 Instance Savings Plans、SageMaker Savings Plans という 3 タイプの Savings Plans を提供しています。Compute Savings Plans は Amazon EC2、AWS Lambda、AWS Fargate の使用量に適用されます。EC2 Instance Savings Plans は EC2 の使用量に、SageMaker AI Savings Plans は SageMaker AI の使用量に適用されます。

Amazon EC2

Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) は、Amazon Web Service Inc. (AWS) のクラウドでスケーラブルなコンピューティングキャパシティーを提供します。Amazon EC2 の使用により、ハードウェアに事前投資する必要がなくなり、アプリケーションをより速く開発およびデプロイできます。Amazon EC2 を使用すると、必要な数 (またはそれ以下) の仮想サーバーの起動、セキュリティおよびネットワーキングの構成、ストレージの管理ができます。Amazon EC2 は、要件変更や需要増に応じてスケールアップまたはスケールダウンできるため、トラフィック予測の必要性を軽減できます。

Amazon EC2 の詳細については、「Amazon EC2 入門ガイド」の「Amazon EC2 とは」を参照してください。

AWS Fargate

AWS Fargate は、Amazon Elastic Container Service (Amazon ECS) と Amazon Elastic Kubernetes Service (Amazon EKS) の両方で動作するコンテナ用のサーバーレスコンピューティングエンジンです。Fargate を使用すると、アプリケーション構築への集中が容易になります。Fargate を使用すると、サーバーのプロビジョニングと管理が不要になり、アプリケーションごとにリソースを指定して支払いを行うことができます。また、バイデザインによるアプリケーション分離でセキュリティが向上します。

Fargate は、Compute Savings Plans の対象となります。

Amazon ECS on Fargateの詳細については、「Amazon Elastic Container Service デベロッパーガイド」の「Amazon Elastic Container Service とは」を参照してください。

Amazon EKS on Fargate の詳細については、「Amazon EKS ユーザーガイド」のうち、「Amazon Elastic Kubernetes Service とは?」を参照してください。

AWS Lambda

AWS Lambda はサーバーをプロビジョニングしたり管理する必要なくコードを実行できるコンピューティングサービスです。AWS Lambda は必要時にのみコードを実行し、1 日あたり数個のリクエストから 1 秒あたり数千のリクエストまで自動的にスケーリングします。使用したコンピューティング時間に対してのみお支払いいただきます- コードが実行中でなければ料金はかかりません。AWS Lambda では、管理を全く必要とせずに、任意のアプリケーションやバックエンドサービスで仮想的にコードを実行できます。AWS Lambda は、高度な可用性のコンピューティングインフラストラクチャでコードを実行し、サーバーとオペレーティングシステム、システムのメンテナンス、容量のプロビショニングと自動スケーリング、コードのモニタリングやログ記録など、コンピューティングリソースのすべての管理を実行します。

Lambda は Compute Savings Plans の対象となります。

Lambda の詳細については、「AWS Lambda デベロッパーガイド」の「AWS Lambda とは」を参照してください。

Amazon SageMaker AI

Amazon SageMaker AI は、フルマネージド型の機械学習サービスです。SageMaker AI では、データサイエンティストやデベロッパーが迅速かつ簡単に機械学習モデルの構築とトレーニングを行うことができ、それらを稼働準備が整ったホストされている環境に直接デプロイできます。

SageMaker AI は、統合された Jupyter オーサリングノートブックインスタンスから、調査および分析用のデータソースに簡単にアクセスできるため、サーバーを管理する必要がありません。また、一般的な機械学習アルゴリズムも使用できます。そうしたアルゴリズムは、分散環境できわめて大容量のデータに対しても効率良く実行できるよう最適化されています。

独自のアルゴリズムやフレームワークもネイティブでサポートされるため、SageMaker AI は、特定のワークフローに適応する柔軟な分散トレーニングオプションを提供します。SageMaker AI Studio または SageMaker AI コンソールから数クリックで起動することで、安全でスケーラブルな環境にモデルをデプロイします。

SageMaker AI は SageMaker AI Savings Plans の対象となります。

Amazon SageMaker AI の詳細については、「Amazon SageMaker AI デベロッパーガイド」の「Amazon SageMaker AI とは」を参照してください。

Savings Plans 推奨事項について

コストを削減するために、 は過去の使用状況に基づいてカスタマイズされた Savings Plans レコメンデーション AWS を提供します。これらの推奨事項を使用して、保存できる内容、コミットメントの使用方法などを理解できます。

AWS アカウントのレコメンデーションを表示できます。を使用している場合は AWS Organizations、管理アカウントまたはメンバーアカウントレベルでレコメンデーションを表示できます。

Savings Plans 推奨事項を確認するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[推奨事項] を選択します。

[推奨事項] ページの [推奨 Savings Plans] セクションに、Savings Plans の選択内容の詳細な内訳が表示されます。推奨事項には、以下のサマリーメトリクスが含まれます。

- 月別オンデマンド支出 - 選択した期間の使用量に基づいた推定オンデマンド支出。これには、計算時に所有しているすべてのアクティブな Savings Plans が含まれます。この値は、過去の使用量と現在の Savings Plans のコミットメントに基づく、オンデマンド支出の月別の額を表します。
- 推定月別支出額 — 推奨される Savings Plans のコミットメントに基づいて予測される支出。この値は、推奨されるコミットメントと、時間ごとの使用量の変動によりオンデマンドベースとなることが予測される使用量で構成されています。
- 推定月別削減額 - 推奨される Savings Plans を購入した場合での、選択した期間の使用量に基づく月別の純削減額。

> **Note**
>
> AWS Cost Explorer API 経由で Savings Plans 推奨事項を受け取ることもできます。
> 請求転送を請求ソースアカウントとして使用すると、Savings Plans レコメンデーションの推定削減額が AWS Cost and Usage Report、、Cost Explorer、および請求書ページの有効な削減額データと一致しない場合があります。これは、Savings Plans の推奨事項で、Billing

Conductor によって生成されたカスタムデータが使用されないためです。推奨されるコミットメント額は、アカウントの節約額を最大化するために正確です。

推奨事項の計算について

Savings Plans 推奨事項では、選択した期間の使用量を調べます。使用量に基づいて、その期間に Savings Plans で追加のコミットメントを設定していた場合の請求額が計算されます。最大の削減になる推定コミットメント値が特定され、推奨されます。

Important

- 推奨情報は使用状況を予測するものではありません。推奨事項は、選択したルックバック期間における使用量の履歴に基づいています。将来の使用量を反映するルックバック期間を必ず選択します。CPU 最適化 EC2 インスタンスに最近切り替えた場合は、ライセンスコストが Savings Plans カバレッジの対象ではなくなるため、変更後のルックバック期間を選択します。推奨事項はルックバック期間中の使用量に基づいているため、キューに登録されている購入や予定されている購入は、推奨事項で考慮されません。また、推奨事項は、即時の購入に対しても生成されますが、将来の購入に対しては生成されません。

  推奨事項は、[リザーブドインスタンスと Savings Plans の割引共有] の設定に基づいて計算されます。設定を確認または変更するには、「AWS Billing ユーザーガイド」の「リザーブドインスタンスと Savings Plans の割引共有」を参照してください。
- 管理アカウントレベルでの推奨事項は、リザーブドインスタンスまたは Savings Plans の割引共有が有効になっている AWS 組織内のすべてのアカウントでの使用量を考慮して計算され、アカウント全体の節約を最大化するコミットメントを推奨します。メンバーアカウントの推奨事項は、独立した各アカウントでの削減を最大化するために、個人アカウントレベルで計算されます。
- 推奨事項は、ルックバック期間 (7 日、30 日、または 60 日) のオンデマンド平均支出が 1 時間あたり 0.10 USD の顧客を対象として生成されます。Savings Plans を最近購入したか、解除したか、または Savings Plans が期限切れになった場合は、現在の Savings Plans のインベントリと最新の使用量データが反映されるように、Savings Plans 推奨事項を更新します。
- Compute Savings Plans と EC2 Instance Savings Plans の推奨事項は、同じ使用量を使用して作成されます。使用量をカバーするために Compute Savings Plans と EC2 Instance

Savings Plans の両方を購入できますが、この 2 つの推奨事項を同時にまとめることはできません。

- 推奨事項は、「Savings Plans による料金」に記載されている Savings Plans の料金を使用して計算されます。

Savings Plans 推奨事項のカスタマイズ

[推奨事項] ページに表示されているパラメータを使用して、Savings Plans 推奨事項をカスタマイズできます。

Savings Plans 推奨事項をカスタマイズするには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[推奨事項] を選択します。
3. Savings Plan sタイプで、Compute Savings Plans、Database Savings Plans、EC2 Instance Savings Plans、または SageMaker AI Savings Plans を選択します。
4. [Savings Plans の期間] を選択します。
5. [支払いオプション] を選択します。
6. [基準とする直近の期間] で日数を選択します。
7. (管理アカウントレベルのみ) [連結アカウント] タブを選択し、推奨事項の対象となるアカウント ID を選択します。
8. (オプション) プランを購入するには、希望するプランの横にあるチェックボックスをオンにし、[Savings Plans をカートに追加] を選択します。

選択内容をカスタマイズすると、それに応じて推奨事項が変わります。[AWS 推奨事項] セクションに、最適なオプションが表示されます。

Savings Plans 推奨事項の詳細の表示

Savings Plans 推奨事項の詳細では、推奨される Savings Plans が、1 時間あたりのオンデマンドの費用、カバレッジ、使用率に及ぼす潜在的な影響を把握できます。各推奨事項は、選択した推奨事項パラメータ、現在の Savings Plans のインベントリ、ルックバック期間中のオンデマンド支出を考

慮して、削減額を最大化するように設計されています。[推奨事項の詳細] ページから [購入アナライザー] にアクセスして推奨事項をカスタマイズし、カスタムコミットメントの次回の Savings Plans 購入コスト、カバレッジ、使用率への影響を見積もることもできます。

Savings Plans 推奨事項の詳細を表示するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[推奨事項] を選択します。
3. [推奨事項] ページの [推奨される Savings Plans] セクションで、特定の Savings Plans の [詳細を表示] を選択します。

[推奨事項の詳細] ページには、推奨されるコミットメントを購入した場合の影響を示す 3 つのシミュレートされたチャートが表示されます。

- オンデマンドの費用: 現在の Savings Plans のコミットメント、推奨される Savings Plans の購入、および残りのオンデマンド支出が表示されます。
- カバレッジ: 推奨される Savings Plans の購入前と購入後のカバレッジが表示されます。
- 使用率: 推奨される Savings Plans の購入の使用率が表示されます。

> **Note**
>
> また、AWS Cost Explorer API を使用して、推奨される Savings Plans の詳細を取得することもできます。

Savings Plans 推奨事項のダウンロード

Savings Plans 推奨事項を CSV ファイル形式でダウンロードできます。CSV ファイル形式は推奨事項の確認や共有に便利です。

Savings Plans 推奨事項をダウンロードするには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[推奨事項] を選択します。

3. [推奨事項] ページの [推奨される Savings Plans] セクションで、[CSV のダウンロード] を選択します。

> **Note**
>
> 特定の Savings Plans の推奨事項は、[推奨事項の詳細] ページからダウンロードすることもできます。

CSV フィールドの詳細

ダウンロードした CSV ファイルには、以下の情報が含まれています。

- アカウント ID — メンバーアカウントの一意の識別子です。
- 提供する ID — 推奨事項の生成に使用される Savings Plans 料金の一意の識別子です。
- 1 時間ごとの購入へのコミットメント — 選択したパラメータに基づく、推奨される Savings Plans の時間単位のコミットメントです。
- 推定 Savings Plans の費用 — 選択した期間 (7 日、30 日、または 60 日) における、推奨される Savings Plans の購入後の推定費用の合計額です。
- 推定オンデマンドの費用 — 選択した期間 (7 日間、30 日間、または 60 日間) における、推奨される Savings Plans の購入後のオンデマンドの推定費用の合計額です。
- 現在の 1 時間あたりの平均オンデマンド費用 — 選択した期間に観測された 1 時間あたりの平均オンデマンド支出です。
- 現在の 1 時間あたりの最小オンデマンド支出 — 選択した期間に観測された 1 時間あたりの最小オンデマンド支出です。
- 現在の 1 時間あたりの最大オンデマンド支出 — 選択した期間に観測された 1 時間あたりの最大オンデマンド支出です。
- 推定平均使用率 — 現在の対象となるオンデマンドの費用に基づく、推奨される Savings Plans の推定使用率です。
- 推定月間削減額 — 過去の使用量と既に所有している Savings Plans に基づいた、Savings Plans の購入によって生じる推定削減額です。
- 推定削減率 — 現在の Savings Plans の対象となるオンデマンドの費用から、Savings Plans のコミットメントにより削減できる金額です。
- 推定 ROI — Savings Plans の推定投資利益率です。これは、推定削減額を Savings Plans の費用で割って計算されます。

購入する Savings Plans の決定

Savings Plans 購入アナライザーは、Savings Plans の潜在的な購入をモデル化して評価できる機能です。これらの購入は、推奨購入額を使用するか、カバレッジの割合をターゲットにするか、独自のカスタム金額を入力して、削減額、カバレッジ、使用率への影響を確認することで計算できます。ルックバック期間を調整するか、期限切れになる Savings Plans を分析から除外することで、結果をファインチューニングできます。Purchase Analyzer を使用すると、月間削減額の見積もりやカバレッジ率などの主要なメトリクスを評価できるため、意思決定プロセスに役立ちます。

購入アナライザーを使用すると、次のことができます。

- Savings Plans の購入計画によるコスト、カバレッジ、使用率への影響を見積もります。
- カスタマイズ可能なパラメータを使用して、さまざまな購入シナリオをモデル化します。
- さまざまなコミットメント金額の節約額とリスクを比較します。
- より多くの情報に基づいた Savings Plans の購入決定を行います。

Savings Plans 購入アナライザーにアクセスするには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[購入アナライザー] を選択します。

分析計算について

Savings Plans 購入分析では、選択した期間のコスト、カバレッジ、使用率を調べます。分析に基づいて、その期間に追加の Savings Plans コミットメントを購入した場合のオンデマンド支出を計算します。

> **Important**
>
> - 分析では使用量は予測されません。分析は、選択したルックバック期間における使用量の履歴に基づいています。将来の使用量を反映するルックバック期間を必ず選択します。CPU 最適化 EC2 インスタンスに最近切り替えた場合は、ライセンスコストが Savings Plans カバレッジの対象ではなくなるため、変更後のルックバック期間を選択します。分析はルックバック期間中の使用量に基づいているため、キューに登録されている

購入や予定されている購入は、分析では考慮されません。また、分析は、即時の購入に対しても生成されますが、将来の購入に対しては生成されません。

- 管理アカウントレベルでの分析は、Savings Plans 割引共有が有効になっている AWS 組織内のすべてのアカウントでの使用状況を考慮して計算され、アカウント全体の節約を最大化するコミットメントを推奨したり、カスタムコミットメントの影響を計算したりします。メンバーアカウント分析は個々のアカウントレベルで計算され、節約を最大化するコミットメントを推奨したり、各個別アカウントのカスタムコミットメントの影響を計算したりします。

Savings Plans の購入分析の実行

購入アナライザーを使用して、計画された Savings Plans 購入分析用に複数のパラメータを設定します。

購入分析を実行するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[購入アナライザー] を選択します。
3. Compute Savings Plans、Database Savings Plans、EC2 Instance Savings Plans、または SageMaker AI Savings Plans を選択します。
4. [EC2 Instance Savings Plans] の場合は、リージョンとインスタンスファミリーを選択します。
5. [分析レベル]で、[支払者] または [連結アカウント] を選択します。
6. [連結アカウント] を選択した場合は、ドロップダウンメニューから、連結されたアカウントを選択します。
7. [期間] で、[1 年] または [3 年] のコミットメント期間を選択します。
8. [支払いオプション] で、[全額前払い]、[一部前払い]、または [前払いなし] を選択します。
9. [ルックバック期間] で、過去 60 日間のルックバック期間を選択します。
10. [期限切れの Savings Plans を除外] で、分析から除外する、90 日以内に有効期限が切れる Savings Plans を選択します。
11. コミットメント で、推奨、ターゲットカバレッジ (%)、またはカスタム を選択します。
12. ターゲットカバレッジ (%) を選択した場合は、ターゲットカバレッジ (%) の下にターゲットカバレッジの割合を入力します。

13. Custom を選択した場合は、時間単位のコミットメント ($) で、希望する時間単位のコミットメント金額を入力します。
14. [分析を実行] を選択します。

Savings Plans の購入分析の確認

パラメータを設定して分析を実行すると、購入アナライザーは結果の Savings Plans を過去のルックバック期間の 1 時間ごとに適用します。このプロセスでは、除外された Savings Plans を削除した後の Savings Plans インベントリだけでなく、さまざまなサービスやリージョンでの使用状況の構成も考慮します。これにより、購入が独自の環境に与える影響を確認できます。データは、コスト、カバレッジ、使用率の 3 つのグラフで表示されます。タブを切り替えると、さまざまなメトリクスを表示し、データポイントにカーソルを合わせると、時間単位の詳細な情報を確認できます。

[購入アナライザー] ページの [分析] セクションには、視覚的な残業グラフが表示され、以下の概要メトリクスが含まれています。

- 推定月別削減額 - 推奨されるコミットメントまたはカスタムコミットメントを購入した場合の、選択した期間の使用量に基づく月別の純削減額。
- 1 時間あたりの平均カバレッジの増加額 – 推奨コミットメントまたはカスタムコミットメントを購入する場合の、1 時間あたりの推定平均カバレッジの増加。
- 1 時間あたりの平均使用率 – 推奨コミットメントまたはカスタムコミットメントの 1 時間あたりの推定平均使用率。

> **Note**
>
> また、AWS Cost Explorer API を使用して、購入分析を受け取ることができます。

さまざまなシナリオをモデル化するには

1. 必要に応じてパラメータを調整します。
2. [分析を実行] を選択します。

   これにより、新しい結果が生成されます。
3. 異なるコミットメント金額または条件の結果を比較します。

Savings Plans の購入分析を完了する

購入シナリオをモデル化したら、Savings Plans 分析を CSV ファイル形式でダウンロードするか、Savings Plans をカートに追加するかを選択できます。

Savings Plans 分析を完了するには

1. [購入アナライザー] ページで、[CSV をダウンロード] を選択して、分析を CSV ファイル形式でダウンロードします。
2. [購入アナライザー] ページで、[Savings Plans をカートに追加]を選択し、[カート] ページで注文を確認します。

CSV フィールドの詳細

ダウンロードした CSV ファイルには、以下の情報が含まれています。

- 提供する ID — 推奨コミットメントまたはカスタムコミットメントの生成に使用される Savings Plans 料金の一意の識別子です。
- 1 時間ごとの購入へのコミットメント — 選択したパラメータに基づく、Savings Plans の時間単位のコミットメントです。
- 推定 Savings Plans の費用 — 選択した期間 (7 日、30 日、または 60 日) における、Savings Plans の購入後の推定費用の合計額です。
- 推定オンデマンドの費用 — 選択した期間 (7 日間、30 日間、または 60 日間) における、Savings Plans の購入後のオンデマンドの推定費用の合計額です。
- 現在の 1 時間あたりの平均オンデマンド費用 — 選択した期間に観測された 1 時間あたりの平均オンデマンド支出です。
- 現在の 1 時間あたりの最小オンデマンド支出 — 選択した期間に観測された 1 時間あたりの最小オンデマンド支出です。
- 現在の 1 時間あたりの最大オンデマンド支出 — 選択した期間に観測された 1 時間あたりの最大オンデマンド支出です。
- 推定平均使用率 — 現在の対象となるオンデマンドの費用に基づく、Savings Plans の推定使用率です。
- 推定月間削減額 — 過去の使用量と既に所有している Savings Plans に基づいた、Savings Plans の購入によって生じる推定削減額です。

- 推定削減率 — 現在の Savings Plans の対象となるオンデマンドコストと比較した、Savings Plans コミットメントによって節約される金額です。
- 推定 ROI — Savings Plans の推定投資利益率です。これは、推定削減額を Savings Plans の費用で割って計算されます。

Savings Plans を購入する

AWS Billing and Cost Management コンソールから Savings Plans にアクセスできます。[推奨事項] ページまたは [Savings Plans の購入] ページから、選択した内容を Savings Plans カートに追加できます。[推奨事項] ページを使用して、過去の使用状況に基づいて Savings Plans 推奨事項を確認することをお勧めします。[購入アナライザー] を使用して、次回の Savings Plansの購入によるコスト、カバレッジ、使用率への影響を見積もることもできます。

> **Note**
>
> 請求転送を使用する場合、Savings Plans とリザーブドインスタンスは、適用される AWS Organizations でのみ購入できます。Savings Plans とリザーブドインスタンスを購入組織外と共有することはできません。Savings Plans とリザーブドインスタンスを購入するアカウントは、別のアカウントが請求書を支払った場合でも、購入の責任を負います。

トピック

- Savings Plans 推奨事項の評価
- カスタムコミットメントでの Savings Plans の購入
- Savings Plans の購入をキューに登録する
- Savings Plans の購入の確認と確定
- 購入した Savings Plans の解除

Savings Plans 推奨事項の評価

[推奨事項] ページにアクセスして、対象となる使用量に応じた削減に役立つ AWS が推奨する Savings Plans を確認できます。これらの推奨事項はいつでも更新できるため、削減に役立つ最適な Savings Plans を簡単に購入できます。アカウント向けに推奨される Savings Plans をカートに直接追加できます。[推奨事項] ページの表示方法や、推奨事項の計算方法の詳細については、「Savings Plans 推奨事項について」を参照してください。

[推奨事項] ページから Savings Plans を購入するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[推奨事項] を選択します。

3. Savings Plans 推奨事項を更新して、最近の利用状況や最新のSavings Plans のインベントリを含めます。
4. [推奨事項パラメータ] セクションで、ご希望の Savings Plans タイプ、Savings Plans 期間、支払いオプション、ルックバック期間を選択します。
5. [推奨される Savings Plans] の表で、購入する Savings Plans の横にあるチェックボックスをオンにします。

> **Note**
>
> 推奨されるコミットメントは、オンデマンド支出ではなく、Savings Plans の料金です。

6. [Savings Plans をカートに追加] を選択します。

> **Note**
>
> メンバーアカウントの推奨事項については、メンバーアカウントオーナーのみが Savings Plans 推奨事項をカートに追加し、推奨事項の購入に進むことができます。

7. (オプション) 推奨される購入品を今後の使用に備えてキューに登録するには、「Savings Plans の購入をキューに登録する」を参照してください。
8. 購入を完了するには、左側のペインで [カート] を選択します。
9. [カート] ページで注文を確認し、[注文書の送信] を選択します。

   [カート] ページの詳細については、「Savings Plans の購入の確認と確定」を参照してください。

カスタムコミットメントでの Savings Plans の購入

推奨額とは異なる額のコミットメントで Savings Plans を購入できます。[Savings Plans の購入] ページで、任意の額のコミットメントを設定して Savings Plans を購入します。

Savings Plans を購入するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[Savings Plans の購入] を選択します。

3. Savings Plans タイプで、Compute Savings Plans、Database Savings Plans、EC2 Instance Savings Plans、または SageMaker AI Savings Plans を選択します。
4. [EC2 Instance Savings Plans] の場合は、リージョンとインスタンスファミリーを選択します。
5. [期間] で、Savings Plans のコミットメント期間を選択します。
6. [コミットメントの設定] の [1 時間あたりのコミットメント] に、1 時間あたりのコミットメント額を入力します。

> **Note**
>
> 時間単位のコミットメントは、Savings Plans の料金であり、オンデマンド支出ではありません。

7. [支払いオプション] で、[全額前払い]、[一部前払い]、または [前払いなし] を選択します。
8. [一部前払い] を選択した場合は、一部前払い額を入力します。
9. (オプション) Savings Plans を将来の日付で開始するようにキューに登録するには、[開始日] を設定します。
10. [Add to cart] (カートに追加) を選択します。

> **Note**
>
> カートに追加する前に、[Savings Plans の分析] を選択して、Savings Plans の詳細とコミットメントを [購入アナライザー] に転送できます。そこで、分析を確認、更新、または実行して、計画された Savings Plans の購入の影響を確認できます。

11. [カート] ページで注文内容を確認し、[注文書の送信] を選択します。

Savings Plans の購入をキューに登録する

Savings Plans の購入を将来の日付で行うようにキューに登録することや、スケジュールを設定することができます。カバレッジを開始する正確な時刻を日付で指定できます。前払い料金または定期料金は、選択した開始日にキューに登録されている購入が処理された場合にのみ請求されます。このキューに登録されている購入は、開始日の前であればいつでも削除できます。

将来の Savings Plans の購入をキューに登録するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます

2. [Savings Plans の購入] ページまたは [推奨事項] ページから Savings Plans を追加します。

   このプロセスについては、「Savings Plans 推奨事項の評価」または「カスタムコミットメントでの Savings Plans の購入」を参照してください。
3. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[カート] を選択します。
4. Savings Plans を選択します。
5. [開始日を設定] を選択します。
6. [日付] と [時刻] を選択します。

   3 年先までの将来の購入をキューに登録することができます。正確な秒を指定することもできます。過去の日付は適用されません。

   > **Note**
   >
   > Savings Plans の購入は、開始日の時点で処理および検証され、開始日の同じ暦月内にすべての検証に合格し、請求される必要があります。Savings Plans での購入は支払い失敗としてマークされ、UTC タイムゾーンの月末までに処理が完了しなければ、使用量に対する割引は適用されません。
7. [確認] を選択します。
8. (オプション) 開始日をクリアするには、[開始日を設定] を選択します。

   - [開始日を削除] を選択します。
9. [注文書の送信] を選択します。

キューに登録されている購入はすべて、[アカウントインベントリ] ページに [キューに入れられました] というステータスで表示されます。キューに登録されている購入を、開始日より前に削除する方法については、「キューに登録されている Savings Plans を削除する」を参照してくだ入さい。

Savings Plans の購入の確認と確定

Savings Plansの [カート] ページでは、購入準備が整うまでコミットメントが保管されます。

[カート] ページから購入を確認して確定するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます

2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[カート] を選択します。
3. 注文を次のように確認します。

   - タイプ: Savings Plans のタイプです。詳細については、「Savings Plans のタイプ」を参照してください。
   - 期間: コミットメント期間 (年単位) です。1 年または 3 年の期間を選択します。

     > **Note**
     >
     > 1 年: 1 年は 365 日 (31,536,000 秒) として定義されます。
     > 3 年: 3 年は 1,095 日 (94,608,000 秒) として定義されます。

   - リージョン: (EC2 Instance Savings Plans にのみ適用可能) コミットする AWS リージョン。例えば、`US East (N. Virginia)`。
   - インスタンスタイプ: コミットする インスタンスファミリー (M5、C5、R5、C5d など) (EC2 Instance Savings Plans にのみ適用)。
   - 購入オプション: コミットメントの購入オプションです。[全額前払い]、[一部前払い]、または [前払いなし] から選択します。
   - 開始日: コミットメントが購入される日付と時刻 (UTC) です。デフォルトでは、日付は [今すぐ] に設定されています。これは、注文書を送信するとすぐに購入が完了することを示しています。
   - コミットメント: Savings Plans に関連する時間単位のコミットメント額で、Savings Plans 料金での期間です。
   - 前払い支払い: 選択した支払いオプションに従って、チェックアウト時に請求される料金の前払い分です。
   - 月額料金: Savings Plans の月額料金です。この料金は、プランの期間中に毎月請求されます。
   - 合計コスト: 選択した期間における Savings Plans の合計コミットメントです。これには、期間中の前払いと定期月額料金が含まれます。

4. [概要] セクションの以下の内容を確認します。

   - コミットメント総額: 開始日や支払いオプションに関係なく、現在カートに入っているすべての Savings Plans の費用の合計です。
   - 現在開始するコミットメント総額: [開始日] が [今すぐ] に設定されている Savings Plans の [前払い料金] の合計です。

5. (オプション) 各アイテムを選択し、[カートから削除] を選択して、カートから Savings Plans を削除します。
6. (オプション) 最初からやり直すには、[カートをクリア] を選択してすべてのアイテムを削除します。
7. (オプション) [別の Savings Plans を追加] を選択して、新しいコミットメントを追加します。
8. [注文書の送信] を選択します。

購入の完了時にエラーメッセージまたは失敗した試行が発生した場合は、 にお問い合わせください サポート。連絡先の詳細については サポート、「 ユーザーガイド」の「請求と支払いに関するヘルプの取得」を参照してください。 AWS Billing

購入した Savings Plans の解除

Savings Plans を購入する際は、1 年または 3 年のコミットメントを設定します。ただし、Savings Plans を購入後、購入ミスにすぐに気付いて修正が必要な場合、限られた期間内であれば修正が可能です。購入した暦月内で、かつ購入から 7 日以内であれば、1 時間あたりのコミットメント額が 100 USD 以下の Savings Plans は、返品制限に達していない限り返品できます。(UTC 時間で) その暦月が終了すると、購入した Savings Plans は解除できなくなります。クォータの詳細については、「クォータと制限」を参照してください。

Savings Plans を解除すると、プランに対して支払った前払い料金は 100% 返金され、この返金は解除から 24 時間以内に請求書に反映されます。このプランでカバーされていた使用量は、オンデマンド料金で請求されるか、該当する場合は別の Savings Plans でカバーされます。

Savings Plan sを返すには、 コンソールを使用するか、 AWS SDK/CLI から `ReturnSavingsPlan`アクションを呼び出します。

アクティブな Savings Plans を解除するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[インベントリ] を選択します。
3. Savings Plans を選択して、[Savings Plans の詳細] ページを開きます。
4. [Savings Plans を解除する] を選択します。

> **Note**
>
> [Savings Plans を解除する] ボタンは、Savings Plans が解除対象となる場合にのみ詳細ページに表示されます。
> 請求転送を使用する場合、Savings Plans を購入するアカウントは、別のアカウントが請求書を支払った場合でも、返金をリクエストする必要があります。

5. [Savings Plans を解除する] ダイアログボックスで、[解除を確認] を選択します。

> **Note**
>
> このアクションは元に戻せません。

解除された Savings Plans は、コンソールの [Savings Plans のインベントリ] ページでも、 AWS SDK/CLI を通じて `DescribeSavingsPlans` アクションを呼び出すことでも表示できます。解除された Savings Plans は [解除済み] のステータスで表示されます。

Savings Plans の解除に関する制限事項

Savings Plans の解除リクエストを送信したが、そのプランが解除対象外である場合は、以下のいずれかの理由に関連するエラーが表示されます。

- 一括請求ファミリーの上限に達した。1 つの AWS アカウントを使用している場合、そのアカウントの制限は満たされています。

  クォータの詳細については、「クォータと制限」を参照してください。
- Savings Plans が [active] 状態でない。アクティブな Savings Plans のみ解除できます。[payment-pending] の Savings Plans を解除するには、アクティブになるまでお待ちください。
- 1 時間あたりのコミットメント額が 100 USD を超えている。
- アクセス許可が不十分なユーザーがリクエストを行った。

> **Note**
>
> ルートユーザーまたは `savingsplans:returnSavingsPlan` アクセス許可を持つ IAM ユーザーのみが自分のアカウントの Savings Plans を解除できます。 AWS 管理ポリシーには、そのアクセス許可`AWSSavingsPlansFullAccess`が含まれます。

- Savings Plans を購入したのが現在の月でないか、現在の月であっても過去 7 日より前である。
- Savings Plan sは全額前払いまたは一部前払いの Savings Plan であり、ブラジル AWS または AWS トルコで登録されています。

  登録販売者 (SOR) の詳細については、「登録販売者の検索」を参照してください。
- 管理アカウントが、Savings Plans の購入時に使用した管理アカウントと異なる。

コスト削減の機会について

AWS Cost Management コンソールの概要ページを使用して、潜在的なコスト削減の機会に加えて、所有している Savings Plans を表示できます。

> **Note**
>
> 現在 Savings Plans を所有していない場合、[概要] ページには Savings Plans の仕組みの概要と、過去の使用量に基づいて推奨される Savings Plans の購入が表示されます。

Savings Plans の概要にアクセスするには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます
2. ナビゲーションペインで、[Savings Plans] の [概要] を選択します。

コスト削減の機会は、過去に Savings Plans を購入したかどうかに応じて、[その他の割引サービス] または [割引サービス] に表示されます。

推奨事項の詳細を確認するには、[推奨される Savings Plans を表示] を選択します。Savings Plans 推奨事項の計算方法の詳細については、「Savings Plans 推奨事項について」を参照してください。

Savings Plans の詳細の表示

Savings Plans を購入すると、[概要] ページに [詳細] セクションが表示されます。[詳細] セクションには、購入した Savings Plans に関連する以下のメトリクスが表示されます。

- タイプ — Savings Plans のタイプごとにサマリーを決定します。
- MTD/YTD プラン – 選択した期間中にアクティブになった Savings Plans の数です。
- MTD/YTD コミットメント – 選択した期間中に償却されたコミットメントの合計数です。
- MTD/YTD 使用率 – 選択した期間中の平均使用率です。
- MTD/YTD 削減額 - 選択した期間中の Savings Plans の削減額の合計です。

所有している Savings Plans の詳細を表示するには、[詳細] セクションで [すべて表示] を選択するか、左側のナビゲーションペインで [インベントリ] を選択します。

Savings Plans アラートの管理

Cost Explorer では、現在アクティブな Savings Plans の有効期限と、キューに登録されている開始予定の Savings Plans を追跡することができます。Savings Plans アラートを使用すると、Savings Plans の有効期限の 1 日前、7 日前、30 日前、60日前、またはコミットメントが購入用にキューに登録されているときに、事前のメールアラートを受け取ることができます。この通知により、有効期限日でもアラートを受け取ることができ、最大 10 人の E メール受信者に送信できます。

Savings Plans のアラートサブスクリプションを管理する方法については、「AWS Billing ユーザーガイド」の「予約アラートとSavings Plans アラートの表示、作成、更新、削除」を参照してください。

Savings Plans の有効期限またはキューに登録されている購入に関するアラートをオンにするには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます
2. ナビゲーションペインで、[Savings Plans] の [概要] を選択します。
3. [アラートサブスクリプションを管理] をクリックします。
4. [アラート頻度] セクションで、アラートを受け取る日をすべて選択します。
5. [E メールの受信者] セクションに、受信者のメールアドレスを入力します。
6. [保存] を選択します。

AWS は Savings Plans の設定をモニタリングし、設定に応じてアラートを自動的に送信します。

Savings Plans のモニタリング

モニタリングは、Savings Plans の使用において重要な部分です。Savings Plans でコストを最適化するには、保有している Savings Plans を理解すること、そのプランが使用量にどのように適用されるのか、どの使用量をカバーするのかを把握することが重要です。使用量は、Savings Plans の [インベントリ] ページでのモニタリングで、または使用率とカバレッジのレポートで確認できます。Savings Plans の使用率、カバレッジ、コストに対する予算を設定することもできます。

トピック

- Savings Plans のインベントリの表示
- Savings Plans の使用状況レポートの使用
- Savings Plans のカバレッジレポートの使用
- Savings Plans の予算の使用

Savings Plans のインベントリの表示

Savings Plans のインベントリページには、所有している、または将来購入が登録されている Savings Plans の詳細な概要が表示されます。

のメンバーアカウントのユーザーは AWS Organizations、特定のメンバーアカウントが所有する Savings Plans を表示できます。組織の管理アカウントのユーザーである場合は、管理アカウントのみが所有する Savings Plans を表示するか、組織内のすべてのアカウントが所有する Savings Plans を表示できます。[アカウントインベントリ] または [組織インベントリ] を選択してビューを変更できます。

> **Note**
>
> 最近購入した Savings Plans は、購入後すぐにアカウントインベントリに表示されます。Savings Plans が組織インベントリビューに表示されるまでに時間がかかる場合があります。

[インベントリ] ページを表示するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます

2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[インベントリ] を選択します。

Savings Plans 表には、購入した Savings Plans に関する以下の情報が表示されます。

- Savings Plans ID — 個々の Savings Plans の一意の識別子です。
- アカウント ID — 特定の Savings Plans を所有するアカウント ID です。この列は、[組織インベントリ] ビューにのみ表示されます。
- ステータス — 各 Savings Plans のステータスです。例えば、アクティブ、登録されているなどです。
- タイプ — Savings Plans のタイプです。
- インスタンスファミリー — Savings Plans の対象となるインスタンスファミリーです。これは EC2 Instance Savings Plans タイプにのみ適用されます。
- リージョン – Savings Plan sがコミットされている AWS リージョン。これは EC2 Instance Savings Plans タイプにのみ適用されます。
- コミットメント — 特定の Savings Plans に対して 1 時間あたりでコミットされた支出額です。
- MTD 実割引額 — 特定の Savings Plans コミットメントの使用状況に基づく、オンデマンドと比較した実際の削減額です。この列は、[組織インベントリ] ビューにのみ表示されます。
- 開始日 — Savings Plans のコミットメントが開始された日付です。
- 終了日 — Savings Plans のコミットメントが終了する日付です。

Savings Plans の更新

アクティブな Savings Plans の有効期限が近づいている場合は、アクティブな Savings Plans の有効期限が切れるとすぐに購入を開始するようにキューに登録することができます。これにより、Savings Plans の継続的なカバレッジが保証されます。

Savings Plans の購入をキューに登録して、期限切れになる Savings Plans を置き換えるには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[インベントリ] を選択します。
3. チェックボックスを使用して、参照 Savings Plans を選択します。

   一度に選択できる Savings Plans は 1 つだけです。選択した Savings Plans はアクティブステータスでなければなりません。

4. [アクション] を選択します。
5. [Savings Plans を更新する] を選択します。
6. (または) 参照 Savings Plans を選択します。
   - [Savings Plans の詳細] ページで、[Savings Plans を更新する] を選択します。

   > **Note**
   >
   > [Savings Plans を更新する] によって、同じ設定でプランが更新され、料金は、現在の Savings Plans の料金を使用して請求されます。これにより、新しい Savings Plans の開始日は、参照 Savings Plans の有効期限の 1 秒後に自動的に設定されます。
   > 参照 Savings Plans を購入した時点からの使用量または Savings Plans の料金の変化に応じて、コミットメント額を変更したい場合があります。

7. [カート] ページで [注文書の送信] を選択します。

[カート] ページの詳細については、「Savings Plans の購入の確認と確定」を参照してください。

キューに登録されている Savings Plans を削除する

キューに登録されている Savings Plans を使用すると、オンデマンドの使用量を引き続きカバーできます。ただし、開始日が近づくにつれ、お客様の希望が変わる可能性があることは承知しています。次の手順を使用して、キューに登録されている購入分を削除できます。

キューに登録されている Savings Plans の購入分を削除するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます
2. ナビゲーションペインで、[Savings Plans] セクションの [インベントリ] を選択します。
3. 削除するキューに登録されている Savings Plans を選択します。

   ステータスは「Queued」とマークされている必要があります。
4. [アクション] を選択します。
5. [キューに登録された Savings Plans を削除する] を選択します。
6. (または) キューに登録されている Savings Plans を選択します。

- [Savings Plans の詳細] ページで、[キューに登録された Savings Plans を削除する] を選択します。

7. ポップアップウィンドウで、[削除] を選択します。

Savings Plans の料金表のダウンロード

所有する各 Savings Plans の詳細情報を含む CSV ファイルをダウンロードできます。Compute Savings Plans では、ファイルのダウンロードに時間がかかる場合があります。

Savings Plans の料金ファイルをダウンロードするには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[インベントリ] を選択します。
3. [Savings Plans] セクションで、[Savings Plans ID] を選択します。
4. [Savings Plans の詳細] ページで、[Savings Plans の料金をダウンロード] を選択します。

Price List 一括 API を使用して Savings Plans AWS 料金をダウンロードすることもできます。詳細については、「AWS Billing ユーザーガイド」の「一括 API の使用」を参照してください。

Savings Plans のインベントリのダウンロード

Savings Plans の表にある Savings Plans の詳細情報がすべて記載された CSV ファイルをダウンロードできます。

Savings Plans のインベントリファイルをダウンロードするには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[インベントリ] を選択します。
3. [Savings Plans] セクションで、[CSV のダウンロード] を選択します。

   [インベントリ] ページですべての Savings Plans をダウンロードすることも、CSV ファイルをダウンロードする前に任意の数の Savings Plans を選択することもできます。

Savings Plans の使用状況レポートの使用

Savings Plans の使用率には、Savings Plans のコミットメントのうちオンデマンド使用量全体で使用している割合が表示されます。Savings Plans の使用状況レポートを使用すると、設定した期間の使用量に Savings Plans がどのように適用されるかを視覚的に把握できます。レポートには、視覚化されたグラフのほか、選択した Savings Plans、フィルター、ルックバック期間に基づく大まかなメトリクスが表示されます。使用率は、ルックバック期間中に Savings Plans がどのように使用量に適用されたかに基づいて計算されます。

例えば、1 時間あたり 10 USD のコミットメントがあり、Savings Plans の料金で請求される使用量が 1 時間あたり合計 9.80 USD の場合、その時間の使用率は 98% になります。

使用状況レポートを表示するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[インベントリ] を選択します。
3. [Savings Plans] セクションで、関連する [Savings Plan ID] を選択します。
4. [Savings Plans の詳細] で、[使用状況レポートを表示] を選択します。

> **Note**
>
> アカウントが請求グループ (標準または請求転送) にある場合、Savings Plans 使用率レポートには見積りデータが表示されます。見積りデータの詳細については、「Billing Conductor とは」を参照してください。

使用率メトリクスと計算について

大まかなメトリクスは、[使用状況レポート] セクションで確認できます。

- Savings Plans の支出 — ルックバック期間中のSavings Plans のコミットメント支出額です。
- オンデマンド支出同等額 — Savings Plans にコミットしていなかったならば同じ使用量に対して費やしたであろう金額です。この金額は、現在のオンデマンド料金に基づく同等のオンデマンドの費用です。
- 合計純削減額 — 選択した期間に Savings Plans のコミットメントを使用して削減した金額を、オンデマンドの費用の推定額と比較したものです。

Savings Plans の使用率は、ルックバック期間に基づいて、時間単位、日単位、または月単位で確認できます。[フィルター] セクションでは、メンバーアカウント、 AWS リージョン、Savings Plans タイプ、インスタンスファミリーごとにフィルターをカスタマイズできます。

管理アカウントのユーザーであれば、一括請求ファミリー全体の利用状況を集計して確認できます。

Savings Plans の使用状況レポートのダウンロード

Savings Plans の使用状況レポートデータの CSV ファイルをダウンロードできます。

使用状況レポートをダウンロードするには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[使用状況レポート] を選択します。
3. [使用状況レポート] ページで、[グラフ (CSV) をダウンロード] を選択します。

Savings Plans のカバレッジレポートの使用

Savings Plans カバレッジレポートには、選択した期間中に Savings Plans でカバーされている該当する AWS 使用コストの割合が表示されます。

カバレッジレポートを表示するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[インベントリ] を選択します。
3. [Savings Plans] セクションで、関連する [Savings Plan ID] を選択します。
4. [Savings Plans の詳細] で、[カバレッジレポートを表示] を選択します。

> **Note**
>
> アカウントが請求グループ (標準または請求転送) にある場合、Savings Plans 使用率レポートには見積りデータが表示されます。見積りデータの詳細については、「Billing Conductor とは」を参照してください。

カバレッジメトリクスと計算について

[カバレッジレポート] セクションには、以下の大まかなメトリクスが表示されます。

- オンデマンド支出は対象外 — ルックバック期間中にSavings Plans またはリザーブドインスタンスでカバーされなかった対象となる削減支出の金額です。
- 平均カバレッジ — 選択したフィルターとルックバック期間に基づいて集計された Savings Plans のカバレッジ率です。
- 潜在的な月額削減額とオンデマンド — Savings Plans 推奨事項に基づく潜在的な削減額です。これは月額として表示されます。

カバレッジは次のように計算されます。

(Savings Plans の対象となる使用量と同等のオンデマンド)

÷

（ Savings Plans でカバーされるオンデマンド相当の使用量 + オンデマンド料金で請求された Savings Plans の対象金額 ）

例えば、1 時間あたり 1.00 USD のオンデマンド料金で 10 個の同じインスタンスを実行していて、実行している 10 個のインスタンスのうち 9 個が Savings Plans のコミットメントの対象になっている場合、カバレッジは 90% になります。

(9 つの Savings Plans 対象インスタンス x 1 時間あたり 1.00 USD の OD レート)

÷

(9 つの Savings Plans 対象インスタンス x 1 時間あたり 1.00 USD OD レート + 1 オンデマンドインスタンス x 1 時間あたり 1.00 USD の OD レート)

使用量は、時間単位、日単位、または月単位できめ細かく確認できます。使用量は、選択したルックバック期間を使用して計算されます。フィルターセクションで、メンバーアカウント、 AWS リージョン、インスタンスファミリー、サービス、コストカテゴリ別にフィルターをカスタマイズできます。

管理アカウントのユーザーは、一括請求ファミリー全体のカバレッジを集計して確認できます。

Savings Plans のカバレッジレポートのダウンロード

Savings Plans カバレッジレポートデータの CSV ファイルをダウンロードできます。

カバレッジレポートをダウンロードするには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[カバレッジレポート] を選択します。
3. [カバレッジレポート] ページで、[グラフ(CSV) をダウンロード] を選択します。

Savings Plans の予算の使用

AWS Budgets を使用して、Savings Plan sの使用率、カバレッジ、コストの予算を設定できます。コストは、最適化を継続しながら追跡できます AWS。

Savings Plans の予算を作成して設定するには、次の 2 つの方法があります。

- テンプレートの使用 (簡易)
- 予算のカスタマイズ (詳細)

詳細については、「 コスト管理ユーザーガイド」の AWS 「 予算を使用した コストの管理」を参照してください。 AWS

テンプレートを使用した Savings Plans の予算の作成

以下の手順に従い、テンプレートを使用して Savings Plans のカバレッジ予算を作成します。

推奨設定のテンプレートを使用して予算を作成できます。予算テンプレートは、 AWS 予算のカスタマイズ (アドバンスド) に必要な 5 ステップのワークフローとは異なり、単一ページのワークフローで Budgets の使用を開始する簡単な方法です。

テンプレートを使用して Savings Plans カバレッジ予算を作成するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます
2. ナビゲーションペインで、[予算] を選択します。
3. ページの上部で、[予算を作成] を選択します。
4. [予算設定] で、[テンプレートを使用 (シンプル)] を選択します。
5. [テンプレート] で、[日次の Savings Plansのカバレッジ予算] を選択します。

6. [予算名] で、予算の名前を入力します。予算名はアカウント内で一意であることが必要で、A ~ Z、a ~ z、スペース、および次の文字を使用できます。

   ```
   _.:/=+-%@
   ```

7. カバレッジしきい値には、 AWS 通知するカバレッジの割合を入力します。例えば、80% を超えるように維持する場合のカバレッジ予算では、「**80**」と入力します。全体のカバレッジが 80% を下回ると、通知されます。
8. [E メールの受信者] で、通知の送信先の E メールアドレスを入力します。複数の E メールアドレスを入力する場合は、カンマで区切ります。通知には、最大 10 個の E メールアドレスを関連付けることができます。
9. [予算の作成] をクリックします。

Savings Plans の予算のカスタマイズ

次の手順を使用して、Savings Plans の使用率や Savings Plans カバレッジのカスタマイズされた予算を作成します。

予算をカスタマイズして、ユースケースに固有のパラメータを設定できます。期間、開始月、特定のアカウントをカスタマイズできます。カスタマイズされた予算を作成するには、5 ステップのワークフローが必要です。

Savings Plans 予算を作成するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます
2. ナビゲーションペインで、[予算] を選択します。
3. ページの上部で、[予算を作成] を選択します。
4. [Budget setup] (予算の設定) で、[Customize (advanced)] (カスタマイズ (高度)) を選択します。
5. [Budget types] (予算タイプ) で、[Savings Plans budget] (Savings Plans の予算) を選択します。
6. [次へ] を選択します。
7. [予算名] で、予算の名前を入力します。予算名はアカウント内で一意であることが必要で、A ~ Z、a ~ z、スペース、および次の文字を使用できます。

   ```
   _.:/=+-%@
   ```

8. [期間] で、実際の使用量と予測される使用量を予算でリセットする頻度を選択します。毎日の場合は [日別]、毎月の場合は [月別]、3 か月ごとの場合は [四半期単位]、または毎年の場合は [年単位] を選択します。すべての予算の時刻は協定世界時 (UTC) です。
9. [支出のモニタリング] で、追跡する予算を選択します。

   Savings Plans の使用率は、使用した Savings Plans の程度を指します。

   Savings Plans のカバレッジは、Savings Plans がカバーする使用量です。
10. 使用率しきい値には、 AWS 通知する使用率を入力します。例えば、使用率の予算で Savings Plans の使用率が 90% を超えるように維持する場合は、「**90**」と入力すると、Savings Plans 全体の使用率が 90% を下回ったときに通知されます。
11. カバレッジしきい値には、 AWS 通知するカバレッジの割合を入力します。例えば、80% を超えるように維持する場合のカバレッジ予算では、「**80**」と入力します。全体のカバレッジが 80% を下回ると、通知されます。
12. [予算の範囲] に、[フィルター] を追加し、詳細オプションを使用して、予算の一部として追跡される費用情報を絞り込みます。
13. [次へ] を選択します。
14. [アラートの設定] で、予算アラートを E メールまたは Amazon SNS トピックで送信するかどうかを選択します。
15. [E メールの受信者] で、通知の送信先の E メールアドレスを入力します。複数の E メールアドレスを入力する場合は、カンマで区切ります。通知には、最大 10 個の E メールアドレスを関連付けることができます。
16. (オプション) [Amazon SNS アラート] では、Amazon SNS トピックの Amazon リソースネーム (ARN) を入力します。

    通知に Amazon SNS トピックを使用する必要があるが、トピックがない場合は、「Amazon Simple Notification Service デベロッパーガイド」の「トピックの作成」を参照してください。

    AWS は、Amazon SNS トピックにテスト E メールを送信することで、予算に Amazon SNS トピックに通知を送信するアクセス許可があることを確認します。

    予算アクセス許可を付与するためのサンプルポリシーと手順については、「予算通知用の Amazon SNS トピックの作成」を参照してください。通知は 1 つの Amazon SNS トピックにのみサブスクライブできます。
17. [次へ] を選択します。
18. [予算を作成] をクリックします。

Savings Plans が使用に適用される仕組みを理解する

アクティブな Savings Plans がある場合は、対象となる AWS 使用量に自動的に適用され、請求額が削減されます。

Savings Plans を用いた場合の請求額の計算

Amazon EC2 リザーブドインスタンス (RI) が適用された後の使用に Savings Plans が適用されます。

現在の Savings Plans は、グループ化されており、対象となる使用に適用されます。Compute Savings Plans の方が適用範囲が広いため、EC2 Instance Savings Plans は Compute Savings Plans よりも優先して適用されます。

一括請求ファミリーでは、Savings Plans は、まず所有者アカウントの使用に適用され、次に他のアカウントの使用に適用されます。これは共有が有効になっている場合にのみ発生します。

対象となる使用の組み合わせごとに、潜在的な削減率を計算します。この割合は、Savings Plans の料金と現在のオンデマンド料金を比較したものです。Savings Plans は、削減率が最も高いものがまず適用されます。削減率が等しい使用が複数ある場合、Savings Plans は、Savings Plans の割合が最も低い使用にまず適用されます。Savings Plans は、残りの使用分がなくなるか、コミットメントがなくなるまで引き続き適用されます。残りの使用はオンデマンド価格で課金されます。

Savings Plans の例

これらの例に示されている料金はあくまで例示的なものです。この例では、1 時間に以下の使用がなされたものとします。

- `r5.4xlarge` Linux x 4、us-east-1 での共有テナンシーインスタンス、1 時間稼働
- `m5.24xlarge` Windows x 1、us-east-1 での専有テナンシーインスタンス、1 時間稼働
- us-west-1 での 400 個の vCPU と 1,600GB の Fargate 使用
- us-east-2 の 512 MB (0.5 GB) の AWS Lambda 使用量のメモリに対して 100 万リクエスト、各 3 秒間継続

料金の例

	オンデマンド料金	Compute Savings Plans の料金	Compute Savings Plans の節約率 (%)	EC2 Instance Savings Plans の料金	EC2 Instance Savings Plans の節約率 (%)
r5.4xlarge Linux	1.00 USD	0.70 USD	30%	0.60 USD	40%
Fargate vCPU	0.04 USD	0.03 USD	25%	該当なし	該当なし
Fargate GB	0.004 USD	0.003 USD	25%	該当なし	該当なし
m5.24xlarge Windows	10.00 USD	8.20 USD	18%	7.80 USD	22%
Lambda 時間 (GB/秒あたり)	0.000015 USD	0.00001275 USD	15%	該当なし	該当なし
Lambda リクエスト (100 万リクエストあたり)	0.20 USD	0.20 USD	0%	該当なし	該当なし

この例では、使用の構成に一致する一部前払いの Savings Plans (期間 1 年間) と仮定しています。簡略化のため、料金と削減率は仮定のものです。

シナリオ例

- シナリオ 1: Savings Plans をすべての使用に適用する
- シナリオ 2: Savings Plans を一部の使用に適用する
- シナリオ 3: Savings Plans が製品全体の一部の使用に適用する
- シナリオ 4: Savings Plans と EC2 リザーブドインスタンスを使用に適用する
- シナリオ 5: 複数の Savings Plans を使用に適用する

シナリオ 1: Savings Plans をすべての使用に適用する

1 年間の一部前払いの Compute Savings Plans を 1 時間あたり 50.00 USD のコミットメントで購入するとします。

各使用量と同等の Compute Savings Plans を掛けると 47.13 USD になるため、この Savings Plans はすべての使用量をカバーします。それでも 1 時間あたり 50.00 USD のコミットメントを下回っています。

Savings Plans がない場合は、59.10 USD のオンデマンド料金で請求されます。

> **Note**
>
> 各時間のコミットメントはその 1 時間以内にのみ使用でき、引き継ぐことはできません。

シナリオ 2: Savings Plans を一部の使用に適用する

1 年間の一部前払いの Compute Savings Plans を 1 時間あたり 2.00 USD のコミットメントで購入するとします。

どの時間でも、削減率最も高い (30% の) Savings Plans から順にお客様の使用量に適用されます。

1 時間あたり 2.00 USD のコミットメントにより、この使用量のうち 約 2.9 ユニットがカバーされます。残りの 1.1 ユニットはオンデマンド料金で請求されるため、`r5` のオンデマンド料金は 1.14 USD になります。

Fargate `m5.24xlarge` と Lambda の使用量もオンデマンド料金で請求されるため、55.10 USD のオンデマンド料金が発生します。この使用のオンデマンド料金の合計は 56.24 USD です。

シナリオ 3: Savings Plans が製品全体の一部の使用に適用する

1 年間の一部前払いの Compute Savings Plans を 1 時間あたり 19.60 USD のコミットメントで購入するとします。

削減率が最も高い (30% である) ため、最初に Savings Plans が `r5.4xlarge` に適用されます。

削減率が次に高い (25% である) ため、次に Savings Plans がFargate の使用に適用されます。Savings Plans は、コンピューティング (vCPU) の前にメモリ (GB) に適用されます。これは、

メモリの方が Savings Plans の料金が低いためです。1 時間あたりの 19.60 USD のコミットメントが満たされ、残りの使用量はオンデマンド料金で請求されます。

`m5.24xlarge` とLambda の使用量に対するオンデマンド料金は 32.70 USD です。

シナリオ 4: Savings Plans と EC2 リザーブドインスタンスを使用に適用する

1 年間の一部前払いの Compute Savings Plans を 1 時間あたり 18.20 USD のコミットメントで購入するとします。us-east-1 には `r5.4xlarge` Linux 共有テナンシー用の 2 つの EC2 リザーブドインスタンス (RI) が存在するとします。

まず、RI は 2 つの `r5.4xlarge` インスタンスをカバーします。次に、Savings Plans の料金が残りの `r5.4xlarge` と Fargate の使用に適用されます。これにより、1 時間あたりのコミットメントである 18.20 USD が使い果たされます。

`m5.24xlarge` および Lambda の使用に対するオンデマンド料金は 32.70 USD です。

シナリオ 5: 複数の Savings Plans を使用に適用する

us-east-1 の `r5` ファミリー向けの 1 年間の一部前払いの EC2 インスタンスファミリー Savings Plans を 1 時間あたり 3.00 USD のコミットメントで購入します。また、1 時間あたり 16.80 USD のコミットメントによる、1 年間の一部前払いの Compute Savings Plans もあります。

EC2 インスタンスファミリー Savings Plans (`r5`、us-east-1) は、使用量に EC2 インスタンスファミリー Savings Plans の料金を掛けると 2.40 USD になるため、すべての `r5.4xlarge` 使用量をカバーします。これは 1 時間あたり 3.00 USD のコミットメントを下回ります。

次に、残りの使用量の削減率が最も高い (25% である) Fargate の使用量に Compute Savings Plans が適用されます。メモリの方が Savings Plans のレートが低いため、Savings Plans はコンピューティング (vCPU) の前にメモリ (GB) に適用されます。1 時間あたりの 16.80 USD のコミットメントが満たされ、残りの使用量はオンデマンド料金で請求されます。

`m5.24xlarge` および Lambda の使用に対するオンデマンド料金は 32.70 USD です。

詳細については、「AWS Billing and Cost Management ユーザーガイド」の「一括請求について」を参照してください。

Amazon EventBridge を使って Savings Plans を自動化する

EventBridge を使用すると、AWS サービスを自動化して、アプリケーションの可用性の問題やリソースの変更などのシステムイベントに自動的に対応できます。AWS サービスからのイベントは、ほぼリアルタイムで EventBridge に配信されます。イベントは、ベストエフォートベースで出力されます。作成されたルールに基づいて、イベントがルールで指定されている値に一致するときに、EventBridge が 1 つ、または複数のターゲットアクションを呼び出します。

自動的にトリガーできるオペレーションには、以下が含まれます。

- AWS Lambda 関数の呼び出し
- Amazon EC2 Run Command の呼び出し
- Amazon Kinesis Data Streams へのイベントの中継
- AWS Step Functions ステートマシンのアクティブ化
- Amazon SNS トピックまたは AWS SMS キューの通知

Savings Plans で CloudWatch Events を使用する例をいくつか次に示します。

- Savings Plans の廃止時に Lambda 関数をアクティブにする。
- Savings Plans が `payment-failed` または `active` とマークされたときに Amazon SNS トピックを通知する。

詳細については、「Amazon CloudWatch Events ユーザーガイド」を参照してください。

Savings Plans からのイベント例

このセクションでは、Savings Plans からのイベント例を示します。Savings Plans では、2 種類のイベントが生成されます。状態の変更をきっかけにトリガーされる状態変更イベントと、1 日または 7 日後に予定されている状態の変更を通知する状態変更アラートイベントです。

Savings Plans 状態変更イベント

Savings Plans の状態変更は、Savings Plans がある状態から別の状態に移行したときに生成されます。例えば、`payment-pending` 状態が `active` に変更になるときや、`active` 状態が `retired` に変更になるときです。

```
{
    "version": "0",
    "id": "999cccaa-eaaa-0000-1111-123456789012",
    "detail-type": "Savings Plans State Change",
    "source": "aws.savingsplans",
    "account": "123456789012",
    "time": "2020-09-16T20:43:05Z",
    "region": "us-east-1",
    "resources": [
        "arn:aws:savingsplans::123456789012:savingsplan/07ec53ab-91c3-4ac5-
bde6-79fd53192252"
    ],
    "detail": {
        "severity": "INFO",
        "previousState": "payment-pending",
        "currentState": "active",
        "message": "PaymentSuccessful"
    }
}
```

状態変更イベントには、リソース (Savings Plans ARN)、以前の状態、現在の状態、重要度、およびメッセージのフィールドが含まれます。

状態変更イベントに指定できる値

previousState	currentState	severity	message
queued	payment-pending	情報	`QueuedPurchaseFulfillment`

queued	payment-failed	ERROR	`LimitExceededException`
			
			or
			
			`SavingsPlanOfferingNotAvailableException`

previousState	currentState	severity	message
queued	queued-deleted	情報	`SavingsPlanQueuedDeleted`
payment-pending	active	情報	`PaymentSuccessful`

payment-pending	payment-failed	ERROR	`LimitExceededException`
			or
			`PaymentUnsuccessful`

active	retired	情報	`SavingsPlanExpiration`
active	pending-return	情報	`SavingsPlanReturnRequested`
pending-return	returned	情報	`SavingsPlanReturnSuccessful`
pending-return	active	ERROR	`SavingsPlanReturnUnsuccessful`

Savings Plans の状態変更アラートイベント

Savings Plans の状態変更アラートは、Savings Plans が 1 日後または 7 日後に `queued` 状態から `active` に、または `active` から `retired` に移行するときに生成されます。これは、Savings Plans が廃止される場合や、キューに登録された状態が満たされた場合に通知する事前通知です。

```
{
    "version": "0",
    "id": "999cccaa-eaaa-0000-1111-123456789012",
    "detail-type": "Savings Plans State Changange Alert",
    "source": "aws.savingsplans",
    "account": "123456789012",
    "time": "2020-09-16T00:15:00Z",
    "region": "us-east-1",
    "resources": [
        "arn:aws:savingsplans::123456789012:savingsplan/07ec53ab-91c3-4ac5-
bde6-79fd53192252",

 "arn:aws:savingsplans::123456789012:savingsplan/19a9fa12-911a-18ed-9aa1-3a2615149a14"
    ],
    "detail": {
        "currentState": "queued",
        "nextState": "active",
        "remainingdays": "1",
        "nextStateChangeDate": "2020-09-17",
        "message": "queued savings plans will go to active state on 2020-09-17"
    }
}
```

状態変更アラートイベントには、リソース (Savings Plans ARN)、現在の状態、次の状態、残り日数、次の状態変更日、およびメッセージのフィールドが含まれます。

状態変化アラートイベントに指定できる値

currentState	nextState	remainir Days	message
queued	active	1	キューに登録されている Savings Plans は、YYYY-MM-DD でアクティブ状態になります。
queued	active	7	キューに登録されている Savings Plans は、YYYY-MM-DD でアクティブ状態になります。

currentState	nextState	remainingDays	message
active	retired	1	アクティブな Savings Plans は、YYYY-MM-DD で廃止状態になります。
active	retired	7	アクティブな Savings Plans は、YYYY-MM-DD で廃止状態になります。

Savings Plans 用の Identity and Access Management

AWS Identity and Access Management (IAM) は、管理者が AWS リソースへのアクセスを安全に制御するのに役立つ AWS サービスです。管理者は、ユーザーが引き受けることができる AWS アカウントでロールを作成できます。ユーザーが AWS リソースを使用してタスクを実行するために必要なアクセス許可を制御します。IAM は追加料金なしでご利用いただけます。

デフォルトでは、ユーザーには Savings Plans のリソースおよびオペレーションのためのアクセス許可がありません。Savings Plans のリソースをユーザーが管理できるようにするには、ユーザーにアクセス許可を委任するロールを作成する必要があります。手順については、「IAM ユーザーガイド」の「ユーザー用ロールの作成」を参照してください。

ポリシーの構造

IAM ポリシーは 1つ以上のステートメントで構成されるJSONドキュメントです。各ステートメントは次のように構成されます。

```
{
  "Statement":[{
    "Effect":"effect",
    "Action":"action",
    "Resource":"arn",
    "Condition":{
      "condition":{
        "key":"value"
        }
      }
    }
  ]
}
```

ステートメントはさまざまなエレメントで構成されます。

- Effect: effect はAllow または Deny にすることができます。デフォルトでは ユーザーはリソースおよび API アクションを使用するアクセス許可がないため、リクエストはすべて拒否されます。明示的な許可はデフォルトに上書きされます。明示的な拒否はすべての許可に優先します。
- [アクション]: アクション は、アクセス許可を付与または拒否する対象とする、特定の API アクションです。

- [リソース]: アクションによって影響を及ぼされるリソースです。Amazon EC2 API アクションの中にはアクションによって作成/変更できるリソースをポリシー内で特定できるものもあります。ステートメント内でリソースを指定するには、Amazonリソースネーム(ARN)を使用する必要があります。詳細については、「Savings Plans によって定義されるアクション」を参照してください。
- Condition] (条件): condition はオプションです。ポリシーの発効条件を指定するために使用します。詳細については、「Savings Plans の条件キー」を参照してください。

AWS マネージドポリシー

によって作成された マネージドポリシーは、一般的なユースケースに必要なアクセス許可 AWS を付与します。ユーザーが引き受けることができるロールを作成したら、必要なアクセス権限に基づいてポリシーをアタッチできます。各ポリシーは、Savings Plans のすべてまたは一部の API アクションに対するアクセス権限を付与します。

Savings Plans の AWS マネージドポリシーは次のとおりです。

- AWSSavingsPlansFullAccess — Savings Plans へのフルアクセスを付与します。
- AWSSavingsPlansReadOnlyAccess — Savings Plans への読み取り専用アクセスを付与します。

ポリシーの例

IAM ポリシーステートメントで、IAM をサポートするすべてのサービスからの任意の API アクションを指定できます。Savings Plans の場合、API アクション の名前に次のプレフィックスを使用します: `savingsplans:`。例えば、次のようになります。

- `savingsplans:CreateSavingsPlan`
- `savingsplans:DescribeSavingsPlans`

単一のステートメントで複数のアクションを指定するには、次のようにカンマで区切ります。

```
"Action": ["savingsplans:action1", "savingsplans:action2"]
```

ワイルドカードを使用して複数のアクションを指定することもできます。例えば、以下のように「Describe」という単語で始まる名前のすべての Savings Plans API アクションを指定できます。

```
"Action": "savingsplans:Describe*"
```

Savings Plans API アクションをすべて指定するには、* ワイルドカードを以下のように使用します。

```
"Action": "savingsplans:*"
```

AWS CloudTrail を使用した Savings Plans API コールのログ記録

AWS Savings Plans は、AWS CloudTrail と統合されます。ユーザー、ロール、または AWS サービスで実行されたアクションのレコードを提供するサービスです。CloudTrail は、すべての API コールをイベントとしてキャプチャします。キャプチャされた呼び出しには、AWS マネジメントコンソール からの呼び出しと、Savings Plans API オペレーションへのコード呼び出しが含まれます。追跡を作成する場合は、Savings Plans など、Simple Storage Service (Amazon S3) バケットへの CloudTrail イベントの継続的な配信を有効にすることができます。追跡を設定しない場合でも、CloudTrail コンソールの [Event history] (イベント履歴) で最新のイベントを表示できます。CloudTrail が収集した情報を使用して、Savings Plans に対して行われたリクエスト、リクエスト元の IP アドレス、リクエスト者、リクエスト日時、およびその他の詳細情報を確認できます。

CloudTrail の詳細については、 『AWS CloudTrail ユーザーガイド』を参照してください。

CloudTrail での Savings Plans 情報

AWS アカウントを作成すると、そのアカウントに対して CloudTrail が有効になります。Savings Plans でアクティビティが発生すると、そのアクティビティは、[イベント履歴] の他の AWS のサービスイベントとともに CloudTrail イベントに記録されます。最近のイベントは、AWSアカウントで表示、検索、ダウンロードできます。詳細については、 「CloudTrail イベント履歴でのイベントの表示」を参照してください。

Savings Plans のイベントなど、AWS アカウントでのイベントの継続的な記録については、証跡を作成します。証跡により、ログファイルを CloudTrail で Amazon S3 バケットに配信できます。デフォルトでは、コンソールで証跡を作成すると、すべての AWS リージョンに証跡が適用されます。証跡は、AWSパーティションのすべてのリージョンからのイベントをログに記録し、指定した Amazon S3 バケットにログファイルを配信します。さらに、CloudTrail ログで収集したイベントデータをより詳細に分析し、それに基づいて対応するため、他の AWS サービスを構成できます。詳細については、次を参照してください:

- 証跡の作成のための概要
- CloudTrail がサポートするサービスと統合
- CloudTrail 用 Amazon SNS 通知の構成
- 複数のリージョンから CloudTrail ログファイルを受け取るおよび複数のアカウントから CloudTrail ログファイルを受け取る

すべての Savings Plans アクションは CloudTrail により ログに記録されます。これらのアクションについては、「AWS Savings Plans API リファレンス」で説明されています。例えば、CreateSavingsPlan アクションを呼び出すと、CloudTrail ログにエントリが生成されます。

各イベントまたはログエントリには、リクエストの生成者に関する情報が含まれます。アイデンティティ情報は、以下を判別するのに役立ちます。

- リクエストが、ルートとユーザーロール認証情報のどちらを使用して送信されたどうか。
- リクエストがロールまたはフェデレーションユーザーのテンポラリなセキュリティ認証情報を使用して行われたかどうか。
- リクエストが別の AWS サービスによって行われたかどうか。

詳細については、「CloudTrail userIdentity 要素」を参照してください。

Savings Plans ログファイルエントリを理解する

「トレイル」は、指定した Amazon S3 バケットにイベントをログファイルとして配信するように設定できます。CloudTrail のログファイルは、単一か複数のログエントリを含みます。イベントは任意ソースからの単一リクエストを表し、リクエストされたアクション、アクションの日時、リクエストパラメータなどの情報を含みます。CloudTrail ログファイルは、パブリック API 呼び出しの順序付けられたスタックトレースではないため、特定の順序では表示されません。

CreateSavingsPlan アクションの CloudTrail ログエントリの例は、以下のとおりです。

```
{
    "eventVersion": "1.05",
    "userIdentity": {
        "type": "AssumedRole",
        "principalId": "[principalId]/[userName]",
        "arn": "arn:aws:sts::[accountId]:assumed-role/[userName]/",
        "accountId": "[accountId]",
        "accessKeyId": "[accessKeyId]",
        "sessionContext": {
            "attributes": {
                "mfaAuthenticated": "false",
                "creationDate": "2019-10-01T00:00:00Z"
            },
            "sessionIssuer": {
                "type": "Role",
                "principalId": "[principalId]",
```

```
                "arn": "arn:aws:iam::[accountId]:role/[userName]",
                "accountId": "[accountId]",
                "userName": "[userName]"
            }
        }
    },
    "eventTime": "2019-10-01T00:00:00Z",
    "eventSource": "savingsplans.amazonaws.com",
    "eventName": "CreateSavingsPlan",
    "awsRegion": "us-east-1",
    "sourceIPAddress": "127.0.0.1",
    "userAgent": "[userAgent]",
    "requestParameters": {
        "commitment": "2.50",
        "savingsPlanOfferingId": "[savingsPlanOfferingId]",
        "clientToken": "[clientToken]",
        "tags": {
            "tag-key": "tag-value"
        }
    },
    "responseElements": {
        "savingsPlanId": "[savingsPlanId]"
    },
    "requestID": "[requestId]",
    "eventID": "[eventId]",
    "readOnly": false,
    "eventType": "AwsApiCall",
    "recipientAccountId": "[accountId]"
}
```

クォータと制限

次の表は、Savings Plans 機能内の現在のクォータと制限を示しています。

Savings Plans

一括請求ファミリーごとの、Savings Plans 推奨に対する毎日の更新リクエストの最大数	3
同じ暦月の購入から 7 日以内であれば返金できる 1 暦年あたりの購入済み Savings Plans の最大数	管理アカウントあたり 10 **Note** Savings Plans を返すときに使用する管理アカウントは、プランの購入に使用された管理アカウントと同じである必要があります。
アカウント ID あたりの 1 日の Savings Plans 購入アナライザー実行の最大数	20

ドキュメント履歴

次の表では、このサービスのリリースを説明しています。

変更	説明	日付
Savings Plans 購入アナライザー	購入する Savings Plans のコスト、カバレッジ、使用率への影響を見積もるのに役立つ新機能が追加されました。	2024 年 11 月 21 日
Savings Plans を解除する	1 時間あたりのコミットメント額が 100 USD 以下の Savings Plans を、購入した暦月内で、かつ購入から 7 日以内であれば解除できる新機能を追加しました。	2024 年 3 月 20 日
Visual Savings Plans 推奨事項	新しい視覚的なグラフを通じて Savings Plans 推奨事項を理解し検証するのに役立つ新機能を追加しました。	2023 年 7 月 24 日
Savings Plans 推奨事項を更新する	Savings Plans の現在のインベントリと最新の使用量データが反映されるように、Savings Plans 推奨事項を更新する新機能を追加しました。	2022 年 12 月 5 日
AWS Fargate Savings Plans の拡大	Savings Plans は、Amazon ECS と Amazon EKS の両方での AWS Fargate の使用のサポートを追加しました。	2020 年 8 月 10 日
Lambda サービスのオンボーディング	Lambdaは、Savings Plans の対象となる新しいサービスとして開始されました。	2020 年 2 月 20 日

初回リリース	本リリースで Savings Plans を導入しました。	2019 年 11 月 6 日

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。